取扱説明書

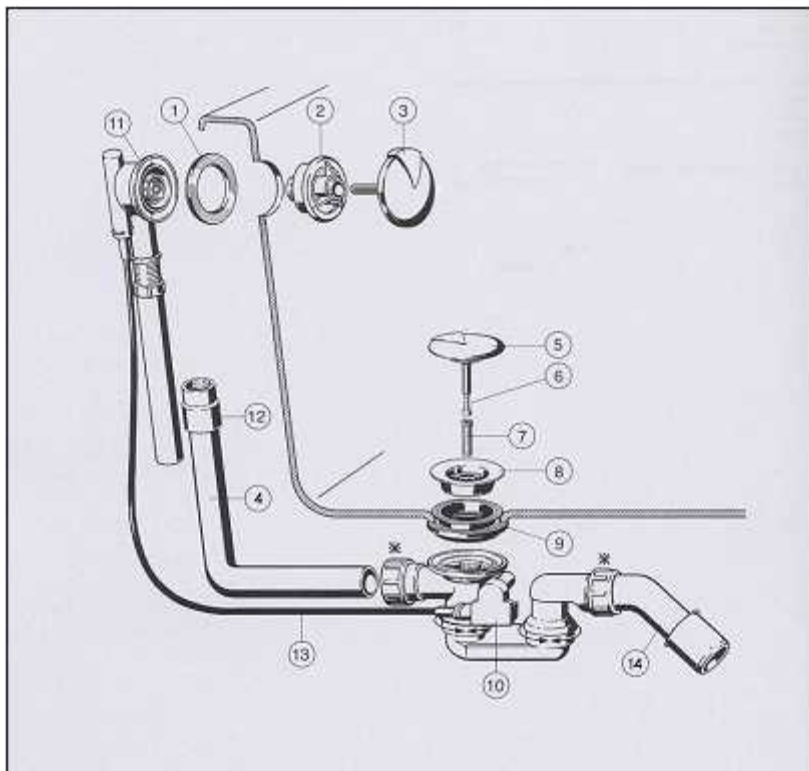
バスタブバルカ

本来の目的にお使い下さい。

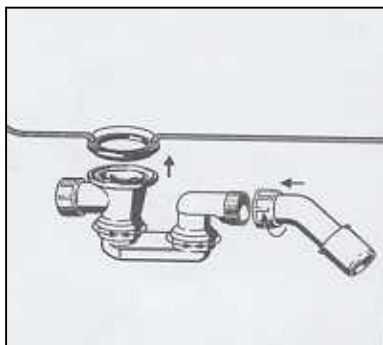
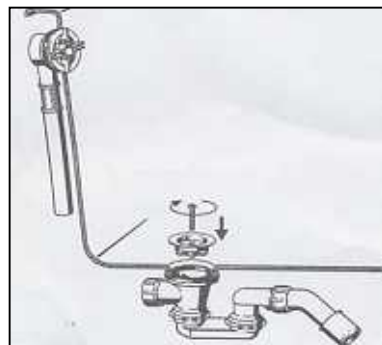
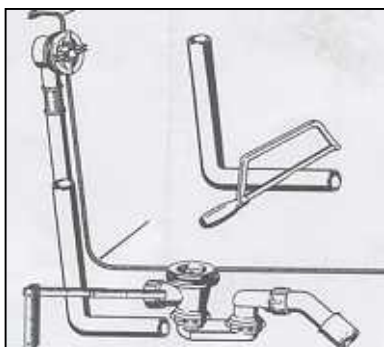
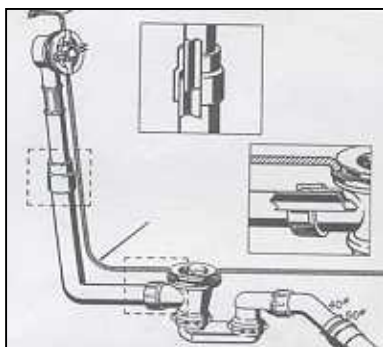
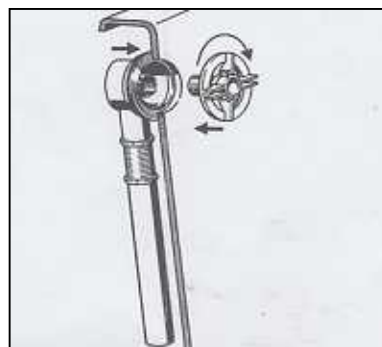
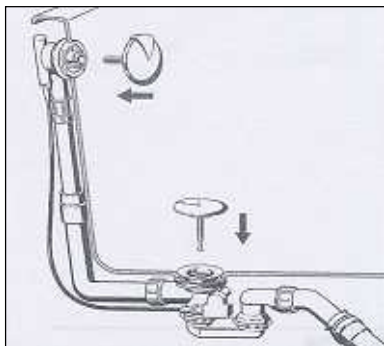
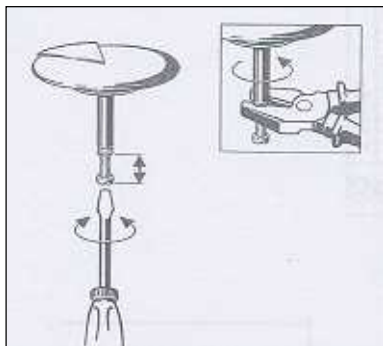
排水器具はオーバーフローホール付きのバスタブに取り付けるためのものです。通常の家庭で使われる排水で70℃までの温水を流すことができます。その他の液体は流さないで下さい。衛生器具・排水器具や配管材料を傷める恐れのある洗浄剤で特に pH が 4 以下の様な有害物質は流さないで下さい。
建物の条件を考慮の上、専門業者様にて施工願います。

注意：1．操作ノブは一定以上回転させた後。無理に力を加えないで下さい。操作ノブをある程度回しても（閉状態から約 180 度）プラグの上がり方が小さいときは高さ調整ビスを再度調整して下さい。ノブを無理やり回すと内部のギアが破損する恐れがあります。
2．操作ノブの取付はカチッと音がするまで押し込んでください。押し込みが足りないと空回りする可能性があります。

システム構成

部品の名称

① 裏側シール
② フランジ(裏側に O-リング有)
③ 操作ノブ
④ オーバーフローパイプ
⑤ プラグ
⑥ 高さ調整ビス
⑦ 固定ビス
⑧ バルブトップ
⑨ ダブルシール
⑩ 作動バルブ／トラップ
⑪ オーバーフローバルブ
⑫ スリーブ
⑬ ワイヤー
⑭ エルボー
※ 内部にゴムパッキン有

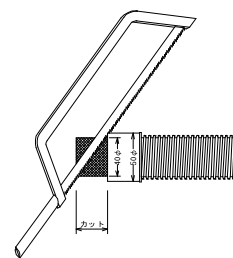
取り付け方法

ダブルシール⑨を作動バルブ⑩に取り付けます。

ダブルシール⑨をバスタブ下側から排水ホールに差し込み、上側に引き出します。形を整えて下さい。

バルブトップ⑧を置き、固定ビス⑦を手で締めます。電動工具は使わないで下さい。

バスタブに合わせ、オーバーフローパイプ④のパイプ長さを調整します。長いときは鋸で切断します。
このバスタブの場合約 60㎜ 切断して下さい。

バスタブに合わせ、オーバーフローバルブ⑪とオーバーフローパイプ④を取り付けます。ナットとゴムパッキンを取り付けます。

オーバーフローバルブ⑪+裏側シール①をバスタブのオーバーフローホール裏側に当て、内側からフランジ②で固定します。フランジ②裏側の 0-リングを確認してください。

操作ノブ③をフランジ②に押し込みます。必ず手で止まるまで押し込んでください。決してハンマーを使わないで下さい。

高さ調整ビス⑥を調整してください。操作ノブ③を回して閉位置の時にプラグ⑤がキッチリとが閉まり、開位置の時にプラグ⑤が十分持ち上がるように調整してから、バルブトップ⑧にはめて下さい。調整終了後中間ナットを締めてビスが緩まないようにして下さい。

トラップ⑩の先にエルボー⑭を取り付けて下さい。先にナットを入れてからエルボーの凹部にゴムパッキンを取り付けて下さい。ナットは必ず手でしっかりと締めて下さい。

トラップと排水パイプの接続

フレキシブルパイプ

リップシール

同梱のフレキシブルパイプ(L=500mm)の先端 40φの部分を先に切断して下さい。

同梱のフレキシブルパイプ(L=500mm)の口ゴムにエルボー⑭を差し込んで下さい。必ず図の様に奥まで差し込んでください。

実際は先端部は切断した状態で使用して下さい。

同梱のリップシールを使ってフレキシブルパイプと塩ビ管を接続して下さい。塩ビ管との 接続には 呼び50 のエルボソケットをお勧めします。フレキシブルパイプの先端はリップシールにギュッと思い切り押し込んでください。

※90°エルボソケットは付属しておりません。

バスタブをゆっくりと戻しながら、エルボソケットと床からの立ち上げ排水管を接続してください。接着剤の乾燥を確認して、さらにゆっくりとバスタブを戻し所定の位置に据え付けて下さい。パイプの状態に十分注意してください。

注意： 床からの立ち上げ排水管は呼び径 50 のＶＰ／ＶＵ管を使用してください。立ち上げ位置は別途排水図を参考にしてください。床立上パイプは予め床から 25～40mm の高さに切断して下さい。